



飯田 将史 編著
新垣 拓
長谷川 雄之

中国安全保障レポート2024

中国、ロシア、米国が織りなす 新たな戦略環境

防衛研究所

著者一覧

飯田 将史 (いいだ・まさふみ) 地域研究部中国研究室長

担当：序章、第1章、終章

主な業績：『海洋へ膨張する中国』（角川 SSC 新書、2013年）、『中国は「力」をどう使うか』共著（一藝社、2023年）、「核大国化を目指す中国の狙い」『Security Studies 安全保障研究』第5巻第2号（2023年6月）、「中国の対米政策——国際秩序の変革と核心的利益の確保を目指して」『国際安全保障』第50巻第2号（2022年9月）。

新垣 拓 (あらかき・ひろむ) 政策研究部グローバル安全保障研究室長

担当：第3章、終章

主な業績：「米国と対中競争——固定化される強硬姿勢」増田雅之編著『大国間競争の新常態』（インターブックス、2023年）、「アメリカと核共有・核協議制度の起源」岩間陽子編『核共有の現実——NATO の経験と日本』（信山社、2023年）、「ウクライナ戦争と米国——強まる大国間競争の流れ」増田雅之編著『ウクライナ戦争の衝撃』（インターブックス、2022年）、『ジョンソン政権における核不拡散政策の変容と進展』（ミネルヴァ書房、2016年）。

長谷川 雄之 (はせがわ・たけゆき) 地域研究部米欧ロシア研究室研究員

担当：第2章、終章

主な業績：「ロシア連邦」油本真理・溝口修平編『現代ロシア政治』（法律文化社、2023年）、「第2次ロシア・ウクライナ戦争とプーチン体制の諸相——権力構造と政治エリート」『国際安全保障』第51巻第2号（2023年9月）、「第2次プーチン政権における安全保障法制の変容——安全保障会議副議長設置とその法的諸問題を中心として」『ロシア・ユーラシアの社会』第1052号（2020年9月）。

編集部：相田 守輝、五十嵐 隆幸、池上 隆蔵、石原 雄介、清岡 克吉、切通 亮、庄司 智孝、
竹内 俊雅、林 浩一

表紙写真（左より）：空母「遼寧」（Photoshot / アフロ）、MV-22 オスプレイ（Stocktrek Images / Getty Images）、露・対独戦勝76周年（AP / アフロ）

中国安全保障レポート2024 中国、ロシア、米国が織りなす新たな戦略環境

令和5年（2023年）11月24日 第1刷発行

著者 飯田 将史 新垣 拓 長谷川 雄之

発行 防衛研究所

©2023 by the National Institute for Defense Studies

〒162-8808

東京都新宿区市谷本村町5番1号

<https://www.nids.mod.go.jp>

デザイン・DTP 組版・印刷製本 株式会社インターブックス

ISBN 978-4-86482-122-3

Printed in Japan



NIDS China
Security Report
2024